

女性内視鏡外科

1. 概要

産婦人科の中で、主に腹腔鏡下手術と子宮鏡下手術全般に関わる手術を担当しています。東三河においては、婦人科手術に関してこれまで開腹術が中心でしたが、良性疾患のほとんどで腹腔鏡下手術が可能のため今後置き換わっていく予定です。この手術は傷も小さく、早期退院、社会復帰可能な手術で患者さんに負担が少ない手術です。平成25年5月1日に着任して以来、順調に手術件数を伸ばし、平成25年12月31日までに腹腔鏡下手術122件、子宮鏡下手術7件施行いたしました。主な適応疾患は、子宮筋腫、卵巣腫瘍、子宮内膜症、子宮外妊娠です。入院期間は腹腔鏡下手術で5日間前後、子宮鏡手術では3日間です。退院後特に制限なく活動が可能となりますので、とても有効な治療法です。現在、子宮体がんに対しても保険適応となりましたので、ますます患者さんに優しい治療として広がっていく予定です。豊橋市民病院では、さらに子宮頸がんに対して腹腔鏡下手術やロボット手術を導入しました。また、高齢化に伴い、子宮脱や膀胱脱といった骨盤臓器脱の患者さんが増えております。臓器脱に伴い社会活動の低下や膀胱機能障害が出現するために、その治療法として腹腔鏡による最新式のメッシュ手術を導入しました。今後ますます低侵襲化手術に向けて展開していく所存です。

(部長 梅村 康太)

学会発表（医局）

<産婦人科・女性内視鏡外科>

※丸数字は共同研究者を示す

No.	演 題 名	発表者及び 共同研究者	学会・研究会名	発表年月日
①	子宮内膜症薬物治療中に発症した卵巣漿液性腺癌の1例	廣渡 芙紀	第34回日本エンドメトリオーシス学会	2013/1/18
②	帝王切開癒着部妊娠の流産後に多量出血を来たし子宮全摘となった1例	北見 和久	第132回東海産科婦人科学会	2013/2/17
③	子宮腺筋症から発生したと考えられた子宮内膜癌の1例	吉田 光紗	第132回東海産科婦人科学会	2013/2/17
④	当院における転移性卵巣癌27例の臨床検討	伴野 千尋	日本産婦人科学会 第65回学術講演会	2013/5/12
⑤	顆粒膜細胞腫におけるFOXL2の遺伝子変異の検討	大瀬戸 久美子	日本産婦人科学会 第65回学術講演会	2013/5/12
⑥	癒着胎盤における遺伝子発現解析	松川 哲	日本産婦人科学会 第65回学術講演会	2013/5/12
⑦	MRIにより後屈子宮嵌頓と診断した底部子宮筋腫合併妊娠の一例	矢吹 淳司	第49回日本周産期・新生児医学会総会および学術集会	2013/7/14
⑧	当院における在胎28週未満のsevere FGR症例の周産期予後に関する検討	山口 恭平	第49回日本周産期・新生児医学会総会および学術集会	2013/7/15
⑨	妊娠・産褥期に脳静脈洞血栓症を発症した先天性AT3欠乏症の2症例	松川 哲	第49回日本周産期・新生児医学会総会および学術集会	2013/7/16
⑩	当科における未分化胚細胞腫12例の臨床的検討	甲木 聡	第54回婦人科腫瘍学会学術講演会	2013/7/19
⑪	PET-CT画像を契機に手術にふみきり診断に至った子宮腺筋症から発生した子宮体癌の1例	吉田 光紗	第54回婦人科腫瘍学会学術講演会	2013/7/20
⑫	顆粒膜細胞腫におけるFOXL2の遺伝子変異の検討	大瀬戸 久美子	第54回日本婦人科腫瘍学会学術講演会	2013/7/20
⑬	Taxane-Carboplatin療法はIV期上皮性卵巣癌の予後を改善したか?	水野 美香	第54回日本婦人科腫瘍学会学術講演会	2013/7/20
⑭	腹腔鏡下手術における基本的な縫合・結紮トレーニング法について	梅村 康太	第53回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会	2013/9/6
⑮	当施設で経験した未分化胚細胞腫12例の検討	甲木 聡	第133回東海産科婦人科学会	2013/9/29
⑯	当院における在胎28週未満のsevereFGR症例の周産期管理・予後についての検討	山口 恭平	第133回東海産科婦人科学会	2013/9/29
⑰	子宮体癌低リスク症例(Mayo criteria)における術前診断の検討	矢吹 淳司	第51回日本癌治療学会学術集会	2013/10/24
⑱	子宮体癌低リスク症例(Mayo criteria)における治療成績	河井 通泰	第51回日本癌治療学会学術集会	2013/10/25
⑲	子宮動脈塞栓術後妊娠で癒着胎盤を合併した1例	廣渡 芙紀	第21回日本胎盤学会学術集会	2013/10/26
⑳	癒着胎盤における遺伝子発現解析	松川 哲	第21回日本胎盤学会学術集会	2013/10/26
㉑	漿膜下子宮筋腫捻転の一例	北見 和久	第26回日本内視鏡外科学会総会	2013/11/28
㉒	腹腔鏡下手術におけるトレーニング法について	梅村 康太	第26回日本内視鏡外科学会総会	2013/11/30

研究会発表（医局）

<産婦人科・女性内視鏡外科>

※丸数字は共同研究者を示す

No.	演 題 名	発表者及び 共同研究者	学会・研究会名	発表年月日
1	抗凝固薬を用いた帝王切開静脈血栓症 予防プロトコール(案)について	岡田 真由美	三河地区ディナゲスト研究会	2013/2/14
②	当院における帝王切開術後の血栓予防 プロトコール	北見 和久	第14回三河重症疾患研究会	2013/7/6

座長・司会（医局）

<産婦人科・女性内視鏡外科>

No.	演 題 名	座長名	学会・研究会名	発表年月日
1	いえさか産婦人科医院 家坂清子「子宮内膜症の薬物治療～当院における処方上の留意点～」	岡田 真由美	三河地区 ディナゲスト研究会	2013/2/14
2	東京医科大学茨城医療センター 産婦人科 藤村正樹「婦人科がんの再発治療・緩和医療についてー我々医療従事者は患者さんに何が出来るのかー」	河井 通泰	第29回 豊橋がんフォーラム	2013/2/21
3	三重大学大学院医学系研究科 臨床医学系講座 産婦人科学 池田智明「我が国の妊産婦死亡例から学ぶ母体安全への提言」	河井 通泰	東三河 周産期・産科医療に関する講演会	2013/3/6
4	豊橋市民病院における骨盤臓器脱治療の現状と今後	河井 通泰	東三河産婦人科医会学術講演会	2013/9/28
5	女性ホルモン製剤で女性の生き方を応援しよう～服薬指導率を上げる指導のコツ～	岡田 真由美	東三河産婦人科医会学術講演会	2013/9/28
6	症例報告	岡田 真由美	周産期医療講演会	2013/10/31

講 演 (医局)

<産婦人科・女性内視鏡外科>

※丸数字は共同講演者を示す

No.	演 題 名	演者名	学会・研究会名	年月日
1	産科統計2012	岡田 真由美	東三河 周産期・産科医療に関する講演会	2013/3/6
2	鉗子分娩について	河井 通泰	周産期医療講演会	2013/10/31
3	症例検討:紹介のタイミング-妊娠高血 圧症候群の3例-	池田 芳紀	周産期医療講演会	2013/10/31

論文・著書（医局）

<産婦人科・女性内視鏡外科>

※丸数字は共同研究者を示す

No.	題名	発表者及び 共同研究者	雑誌名
1	当科における未分化細胞腫12例の臨床的検討	甲木 聡	東海産婦人科学会 50巻, 267-272頁, 2013年
2	当院における在胎28週未満のsevereFGR症例の周産期予後に関する検討	山口 恭平	東海産婦人科学会 50巻, 137-143頁, 2013年
3	子宮体部明細胞腺癌の6症例	吉田 光紗	臨床婦人科産科 67巻, 1283-1286頁, 2013年
4	染色体早期離解/多彩異数性モザイク症候群の1例	長柄 俊佑	日本周産期・新生児医学会雑誌 49巻, 1029-1033頁, 2013年
5	Post recurrence clinicadutcome of patients with stage I epithelial ovarian cancer who underwent fertility-sparing surgery compared to those with radical surgery	Hiroaki Kajiyama	Surgical Science 4巻, 118-124頁, 2013年
6	A recurrence-predicting prognostic factor for patients with ovarian clear-cell adenocarcinoma at reproductive age	Hiroaki Kajiyama	Int J Clin Oncol 51巻, 635-638頁, 2013年
7	Survival benefit of taxane plus platinum in recurrent ovarian cancer with non-clear cell non-mucinous histology	Hiroaki Kajiyama	J Gynecol Oncology 25巻, 43-50頁, 2013年